



### この内水ハザードマップについて

浸水被害は、その原因によって二種類に分類されます。ひとつは左下図のように川の水があふれたり、破堤するなど川の水が原因で発生する外水（洪水）氾濫による浸水被害です。もうひとつは右下図のように水路の排水能力以上の雨が降ったり、川の水が満水のために川に排水できなかつたりして水路から水があふれることによって発生する内水氾濫による浸水被害になります。

この内水ハザードマップは後者の内水氾濫による浸水被害を想定したマップです。概ね100年に1回程度は降るおそれのある猛烈な雨が降った場合を想定したもので、コンピューター解析によって求められた浸水予想区域とその水深（浸水深）を表したものになります。また平成29年7月・8月の豪雨時に各町内より浸水の報告がありました箇所についても併せて表しています。

#### 〔解析条件〕

- 浸水被害の種類： 内水氾濫による浸水被害
  - 放流先河川の場合： 満水（川に排水できない状態）
  - 降雨の大きさ： 100年に1回程度は降るおそれのある猛烈な雨  
（一時間降雨量：98.6mm）
- <参考> 平成29年7月豪雨（一時間降雨量：約93mm）  
平成29年8月豪雨（一時間降雨量：約95mm）

#### 外水（洪水）氾濫概念図

台風や大雨によって河川の堤防から水があふれたり、破堤して、家屋や田畑が浸水する



#### 内水氾濫概念図

大量に降った雨により水路から水があふれたり、川が満水で排水できなくなり家屋や道路が浸水する

